

ながさきハンディキャプトサポートセンター主催

# 「ユーザーに合わせた介助機器の選択ポイント」

に参加させていただきました！

平成27年1月8日(木) 19:00~20:30 開催地:もりまちハートセンター



昨年4月末に、アイフルケア福祉住環境設計室がセミナーを行わせていただき、今回のセミナーは、日頃から親しくさせていただいております、北九州の(有)三電 袋野さんが行いました。

リフトが得意分野で、これまで数多くのケースに関わられており、下記にもありますが色々な場面での福祉用具の提案をされています。

## 学術的内容

### 車いすについて

- 本人の「身体状況」や「使用目的」に応じて選定「姿勢」「移乗方法」「住環境」についても考慮する車いす用クッションも重要です。正しく選定しないと...

二次障害につながることも

- 二次障害とは...姿勢が悪くなる、動けなくなる、疲れる、痛みがでる、褥瘡、本人の出来る事を奪ってしまう事など

- 良くあるパターン:「軽いやつ」「安いやつ」「小さいやつ」※これらは何を基準に、選定しているのか確認すべき。

有限会社 三 電

### ケース①姿勢がくずれるメカニズム



POINT: 座高(シート高)は高めのセッティング! 足駆動=低床 ←間違い。姿勢が崩れてしまう Let's Try! 「股関節の動きの影響を体験してみる」

有限会社 三 電

### 移乗用具とは

- 介助者、利用者を守ります→「リスクマネジメント」

「抱える移乗の場合」

- ・利用者 → 転倒・圧迫(骨折)・緊張などのリスクがある
- ・介助者 → 大きな努力を要する為、腰痛になりやすい・ヒヤリハット多い

「用具を使った移乗の場合」

- ・利用者 → 移乗におけるリスクが少ない(安全・安楽である)
- ・介助者 → 自分で出来ない?と思っていた事が出来るようになる

- ・結果 → 移乗におけるリスクを軽減することにより、継続した支援・介助ができるようになる。気持ちに余裕をもって介助ができるようになる。人によって移乗技術に差が出にくい。

※楽をする為の道具ではなく、互いの安全の為の道具である

有限会社 三 電

## 実例紹介

### 浴室(XY・RC壁固定)



有限会社 三 電

### プール(歩行訓練)



有限会社 三 電

### 乗馬クラブ



有限会社 三 電

正月明けの遅い時間からの開催でしたが、20名を超える方が参加されました!



袋野さん自身も、「座学で一時間半のセミナー」は初めてとの事でしたが、学術的内容もよくまとめてあり、また、実例紹介も多数ありましたので、聞き易く、集中力が途切れませんでした! アイフルケア社員も、参加させていただき、更に福祉用具の知識を深め、また、改めて、福祉用具の可能性を再認識する事が出来ました!